

# 総合カタログ

セイコー・イージーアンドジー株式会社

**SEIKO EG&G**

# 高純度Ge半導体検出器

高純度Ge（HPGe）半導体検出器は逆バイアスした大型のダイオードで、N型とP型があります。

P型は n+ の厚いリチウムコンタクト、N型は p+ の薄いイオン注入型コンタクトが結晶の外側表面に付けられます。

片側を閉じた円柱の形をしているのが「同軸型」で、ディスクの形をしているのが「プレナ型」です。

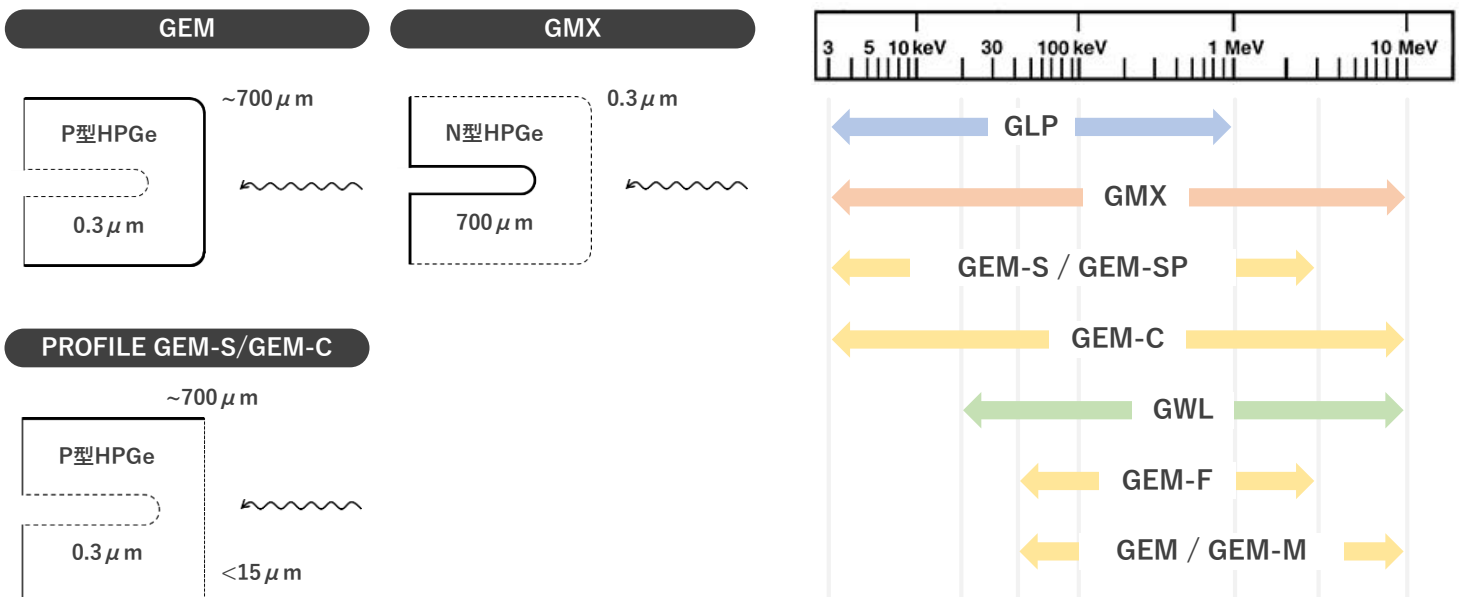
モデル	結晶構造	不感層厚 (μm)	Stable Thin Front Contact	Low Noise Back Contact	エネルギー範囲	特徴	
GEM	P型同軸	700	-	-	40keV ~ 10MeV		
PROFILE	GEM-F	P型 セミプレナ	700	-	-	40keV ~ 3MeV	・エンドキャップに近い位置の試料に対して最適化
	GEM-S		700	○	-	3keV ~ 3MeV	・Fシリーズの特徴 ・低エネルギーにおける優れた効率
	GEM-SP	700	○	○	3keV ~ 3MeV	・Fシリーズの特徴 ・低エネルギーにおける優れた効率と分解能	
	GEM-M	P型同軸	700	-	-	40keV ~ 10MeV	・マリネリ容器に対して最適化 ・低エネルギーにおける優れた分解能
	GEM-C		700	○	-	3keV ~ 10MeV	・Mシリーズの特徴 ・広いエネルギー範囲における優れた効率
GMX	N型同軸	0.3	-	-	3keV ~ 10MeV	・低エネルギーにおける優れた効率	
GLP	P型プレナ	0.3	-	-	3keV ~ 1MeV	・低エネルギーにおける優れた分解能	
GWL	P型井戸	0.3	-	-	10keV ~ 10MeV	・少量サンプルに対する高い効率	

- ・3keV～のエネルギー範囲はBeウィンドウを選択した場合です
- ・低バックグラウンドオプションも選択いただけます
- ・モデルの選び方の詳細は「最適なGe検出器の選び方」を参照ください

[https://www.sii.co.jp/jp/segg/files/2013/04/file\\_IMAGE\\_FILE\\_161\\_IMAGE17.pdf](https://www.sii.co.jp/jp/segg/files/2013/04/file_IMAGE_FILE_161_IMAGE17.pdf)



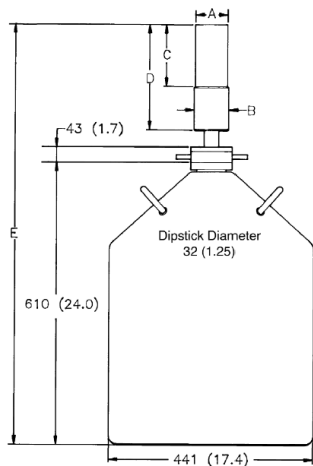
## 構造と測定可能エネルギー範囲



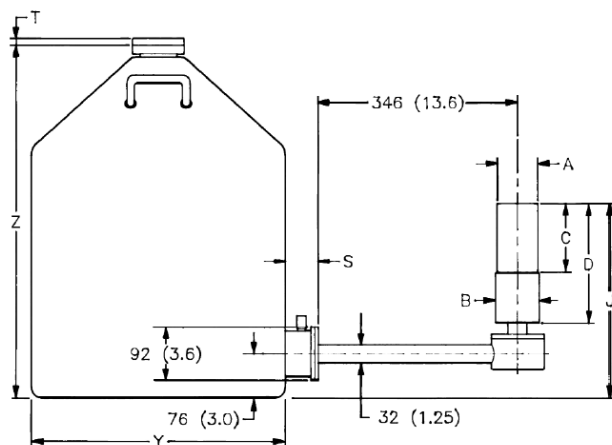
# クライオスタット・デュワ

HPGe半導体検出器は、漏れ電流やノイズを低減するため、液体窒素に近い温度で動作するように設計されています。そして、(a)検出器素子HPGe、(b)電荷型プリアンプとHVフィルター（ケーブル付属）、(c)クライオスタットと30L液体窒素デュワまたはクライオスタットとデュワのアッセンブル、あるいは電氣的に冷却するクライオスタットから構成されます。

検出器と一体のストリームライン型を中心にモデルを展開しており、PopTop型と呼ばれる検出器と取り外し可能なモデルも選択いただけます。



CFG-SV, DWR-30



CFG-SJ, DWR-30B (or -13B or -7.5B)

# 冷却方式オプション

## MOBIUS Recycler (液体窒素凝縮装置)

HPGe半導体検出器を使用するためには、液体窒素あるいは電気冷却機でGe結晶を冷却してガンマ線の測定をおこないますが、MOBIUSは両方の方式の長所を併せ持った装置です。

MOBIUSはデュワー内の液体窒素で検出器を冷却するとともに、デュワー内で蒸発した気体状の窒素を冷却し液体窒素に戻すことにより、液体窒素の補給頻度を大きく削減することができる装置です。

Geスペクトロメトリシステムへの定期的な液体窒素補給作業を減らし、運用コスト削減に優れた効果を発揮します。

### 特徴

- ✓ 液体窒素使用時と同じ検出器性能を実現 (15keV以上)
- ✓ 液体窒素の補給は約2年間不要 (結晶が冷却されフル充填後)
- ✓ 付属のレベルモニタがデュワー内の液体窒素残量を表示
- ✓ 電源供給が切断された場合の液体窒素消費量は3~4L/日



ICS

Mobius Recycler

## ICS (統合型冷却システム)

ICS (Integrated Cryocooling System) は、ORTECの最新鋭統合型冷却システムです。

電気冷却機能によってHPGe半導体検出器を冷却しますが、液体窒素で検出器を冷却した場合と同等な検出器の性能を提供します。

ICSは優れた冷却機構と強化クライオスタットを採用することにより、装置のメンテナンスフリーを実現しています。

### 特徴

- ✓ ORTEC製GEM、・GMX・Profile型Ge検出器に使用可能
- ✓ Ge検出器とICS同時購入時、Ge検出器性能の劣化なし (@ $\geq 100\text{keV}$ )
- ✓ AVC (Active Vibration Cancellation) 機構採用により、静かな動作音と分解能を実現
- ✓ 全方向に設置でき、発熱量も低いため多くのアプリケーションに利用可能

# 遮蔽体



## 標準遮蔽

検出器モデル・冷却方式に応じた最適な遮蔽体を用意しています。

鉛遮蔽厚さ	100mm
重量	約1600kg
床耐荷重	約2550kg/1m <sup>2</sup> 当たり
設置面積	1000mm×1000mm程度

## オプション

液体窒素重量計 / 測定中表示器



## 極低バックグラウンド遮蔽体

HPGe半導体検出器向けの極低バックグラウンド鉛厚150mmの鉛遮蔽体です。

使用部材は厳選され、内側25mmの鉛部材の含有放射エネルギーは25Bq/kg以下です。含有する放射能が極めて低いため、低バックグラウンドを要求される測定に最適な遮蔽体です。

鉛遮蔽厚さ	150mm
重量	約2000kg



## サンプルチェンジャ付き遮蔽体

測定する試料容器に応じたサンプルチェンジャ付き遮蔽体のご相談もお受けしています。

当社営業までお問い合わせください。

# MCA

## MCA-7a

MCA-7aは国産MCAとして好評を博している7000シリーズの最新モデルです。DSP技術を採用したデジタルフィルタ方式PHAモジュールと小型HVモジュールの開発により、シリーズ最小のコンパクトボディながら2系統の検出器をフルサポートします。さらに、アナログアンプエミュレート機能が煩雑な設定を簡素化しました。PCとの通信インターフェースはギガビットイーサネットに加え、USB2.0に対応しています。



### 特徴

- ✓ 最新DSP技術によるデジタルフィルタリング 16kchデジタルPHAモジュール
- ✓ タッチパネル付10.4" / SVGAディスプレイ採用
- ✓ プリアンプ時定数(P/Z)の自動調整機能あり
- ✓ 2系統の検出器をフルサポート
- ✓ デジタルPHAモジュール and/or アナログPHAモジュール
- ✓ USBメモリにスペクトルデータを保存可能 (セキュリティ付USBを除く)

### オプション

M7-220	デジタルPHAモジュール 16kch / 31bit
M7-300	5kV高圧電源モジュール
M7-310	2kV-POS高圧電源モジュール
M7-320	2kV-NEG高圧電源モジュール
M7-510	1CHアナログPHAモジュール
M7-580	8CHアナログPHAモジュール
M7-520	8CHアナログPHAモジュール用ファンアウトケーブル

## digiDART

digiDARTはHPGe半導体検出器にも対応したデジタルMCAです。その特性からフィールド測定に最適なモデルと言えます。勿論PCとのUSB通信は可能ですが、洗練された内蔵のディスプレイとキーパッドを使用することで様々なタスクを達成できます。



### 特徴

- ✓ 高性能・高耐久性16kチャンネルMCA
- ✓ 最大スループット $\geq 100,000$ cps
- ✓ バッテリー寿命 $\geq 9$ 時間
- ✓ バッテリー込みで“860g”
- ✓ バックライト付LCDディスプレイ内蔵

## digiBASE

NaIやLaBr<sub>3</sub>等のシンチレーション検出器を使用したガンマ線スペクトロスコープのための14ピン光電子増倍管ベースです。プリアンプ、HVおよびデジタルMCAを内蔵しています。ご使用のシンチレーション検出器に接続するために必要な全てがこの1台に含まれています。



### i-Spector Digital (CAEN社)

#### SiPM付デジタルMCA

ガンマ線スペクトロスコープ用のSiPM、電子機器、MCAが一体となっています。i-Spector Digital はイーサネット経由で制御でき、アナログ増幅信号とオンボードで計算された4kチャンネルのエネルギースペクトルを出力します。CsIシンチレーター、NaI、BGO、LYSO、LaBr<sub>3</sub>など様々な検出器のアセンブリが可能です。



# シンチレーション検出器

## SCIONIX社 代表製品

### Nal(Tl)検出器

シンチレーションカウンティング / 保健物理 / 環境モニタリングや高温下での使用

Nal(Tl)はその吸湿性のため密封パッケージされています。ハイライト出力と光電子増倍管の感度に適合した発光スペクトルによって得られるエネルギー分解能により、ガンマ線を検出する多くのアプリケーションで使用されています。

Nal(Tl)検出器モジュール



### CeBr<sub>3</sub>検出器

高分解能を要求する $\gamma$ 線スペクトロメトリー

CeBr<sub>3</sub>シンチレーション結晶はNal(Tl)の有効な代替手段となります。エネルギー分解能に関して、約200keV以上の $\gamma$ 線エネルギー領域において、CeBr<sub>3</sub>はNal(Tl)より優れています。

また、LaBr<sub>3</sub>などに顕著に見られる結晶固有のバックグラウンドといった弱点も無視できます。

### BGO検出器

素粒子物理学 / 地球物理研究 / PET / アンチコンプトンスペクトロメータ

BGOは7.13g/cm<sup>3</sup>と極めて高密度で、自然放射能(U、Th、K)の検出に最適な大きいZ値を持ち、高エネルギー物理学アプリケーションや小型コンプトン抑止スペクトロメータに適しています。

### CsI(Tl)検出器

素粒子および高エネルギー物理学 / 放射線検出 / フォトダイオードリードアウトやフォスウィッチ

CsI(Tl)は、非吸湿性で劈壊せず、光電子増倍管の代わりにシリコンフォトダイオードを用いてリードアウトできるという利点があります。このフォトダイオード検出器は、コンパクトで非常に安定しており、高電圧は不要、頑丈で高磁場のオペレーションが可能です。素粒子物理学の研究では、アレーまたはマトリックスで使用されます。



CsI結晶

### プラスチックシンチレーション検出器

時間分解能を要求する放射線検出

プラスチックシンチレーション検出器は荷電粒子の測定に適しており、無機シンチレータと比較して減衰時間が短く宇宙線のような速い粒子の検出にも用いられます。

材料がプラスチックであるために、加工が容易で大型検出器の製作も可能です。

### LBC検出器

LaBr<sub>3</sub>:Ceと同様の特性を持った高分解能シンチレータ

LBC (Lanthanum BromoChloride) LaBr<sub>2.85</sub>Cl<sub>0.15</sub>:Ceシンチレータは、よく知られているLaBr<sub>3</sub>:Ce結晶と同様の特性を有しています。エネルギー分解能は3% FWHM (662keV)程度が標準であり、LaBr<sub>3</sub>と同じLa-138バックグラウンドの影響を受ける点にご注意ください。

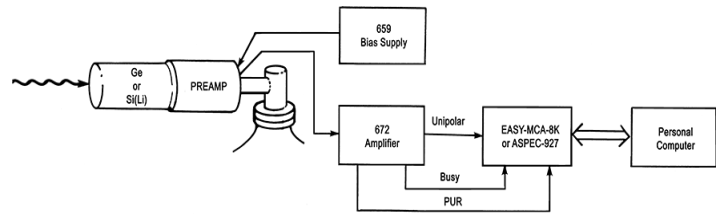
# NIMモジュール

NIMモジュールはモデル毎に役割が異なりますので複数組み合わせることで一つのシステムとして運用します。

一体型のMCAと比較して測定用途別に最適なシステムを組み上げられることが最大の特徴です。

実際に放射線検出器を動作させるための接続例を右図に示します。

NIMモジュールを使用した放射線検出器の接続例



## 取扱メーカー

**ORTEC**

**CAEN**  
Tools for Discovery

## 高圧電源



MODEL 556

代表製品	ORTEC / 659	ORTEC / 556	CAEN / N1471
代表用途	Ge, Si(Li) 等	PMT, GM管 等	物理実験
出力	0-5 kV 0-500V(0-100 μA)	0-3 kV (0-10mA)	0-5.5 kV (300 μA)
リップルノイズ	10 mVp-p (5-50 MHz)	<15 mVp-p (20-20 MHz)	<15 mVp-p
出力安定性	< ±0.1%/h	<0.01%/h <0.03%/d	<±0.02%/w
温度感度	<0.08%/°C (10-50 °C)	<50ppm/°C (0-50 °C)	<50ppm/°C (0-45 °C)
表示機能	動作前出力極性表示	デジタルメータ表示	グラフィック カラーディスプレイ
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートシャットダウン</li> <li>FET保護用リセット</li> <li>セーフティ機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過負荷及び短絡保護</li> <li>外部制御</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローカルまたはリモート (USB2.0/RS485/RS232)</li> <li>チャンネル管理用ソフトウェアツール</li> </ul>

## NIM/BIN電源



MODEL 4001A/4002D

代表製品	ORTEC / 4001A/4002D
名称	NIMビン電源
出力	160 W (±6V, ±12V, ±24V)
リップルノイズ	<3 mVp-p
長期安定性	< ±0.5 % (6か月)
出力インピーダンス	<0.3 Ω
温度感度	<0.02 %/°C (0-60 °C)
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>過負荷・短絡保護</li> <li>回路保護 (温度制御・ヒューズ)</li> </ul>

## 増幅器



MODEL 572A

代表製品	ORTEC / 572A	ORTEC / 474
名称	アンプ	タイミングフィルタアンプ
用途	高係数率エネルギースペクトロスコープ用	Ge用タイミング測定
出力範囲	UNI : 0-10 V BI : ±10 V	±5 V
遅延範囲	-	-
ゲイン	1-1500 (連続調節可)	2-250 (連続調節可)
ライズタイム	入力: 10-650 (ns)	≤10 (ns)
シェイピングタイム	0.5,1,2,3,6,10 (μs)	Int, Diff 選択可 Out,20,50,100, 200,500 (ns)
温度安定性 (ゲインシフト)	≤ ±0.0075 %/°C	≤ ±0.06 %/°C
出力インピーダンス	前面 ~1 Ω 背面 93 Ω	前面 ~1 Ω 背面 93 Ω
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>高係数率用バイルアップリジェクタ及び自動BLR内蔵</li> <li>アクティブフィルタネットワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パルス波形フィルタ選択可</li> <li>シグナル対ノイズの最適化</li> </ul>

## カウンタ&タイマ



MODEL 994

代表製品	ORTEC / 994	CAEN / N1081B
名称	各種測定	各種測定
タイマ数	1 ch	4 ch 6NIM/TTL/ Analog入力
カウンタch数	2 ch	4NIM/TTL/出力
最大計数率	POS : 25 MHz NEG : 100MHz	POS/NEG : 130MHz
インターフェース	表示桁数 : 8	機能毎の独自UI
プリセットタイム	0.01~990,000 (sec) 0.01~990,000 (min)	測定ウィンドウ方式 2.0x10-8 ~ 40 (sec)
プリセットカウンタ	1~99,000,000 (cnt)	-
タイムベース正確性	≤0.0025% (0-50°C)	-
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>RS-232-C (PCコントロール用)</li> <li>プリンタ出力</li> <li>指数表示</li> <li>プリセットタイムまたはプリセットカウント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート制御</li> <li>1Gbpsイーサネット</li> <li>USB2.0</li> <li>多数機能搭載</li> <li>ロジック、タイミング、ジェネレータ、等</li> </ul>



## Detective-X-TS

## 主な用途

In-situ測定・分析 / フィールド迅速測定・分析



- 大型HPGe半導体検出器搭載：65mm  $\phi$  x 50mm, 相対効率40% (代表値)
- 液体窒素不要の電気冷却式、装置単体で動作
- IP65(防水・防塵)設計
- ホットスワップ可能な2個のバッテリーで8時間以上動作可能
- 収集データは SD,USBで PCへ転送可能
- USBフラッシュメモリーを内蔵・取り出し可能
- 重量：約7kg
- サイズ：約 40(L) x 16(W) x 21(H) cm

## Detective-X

## 主な用途

ホームランドセキュリティ



- 大型HPGe半導体検出器搭載：65mm  $\phi$  x 50mm, 相対効率40% (代表値)
- 液体窒素不要の電気冷却式、装置単体で動作
- IP65(防水・防塵)設計
- ホットスワップ可能な2個のバッテリーで8時間以上動作可能
- 収集データは SD,USBで PCへ転送可能
- USBフラッシュメモリーを内蔵・取り出し可能
- DETECTIVE-X-Nモデル： $\gamma$ 線+中性子, DETECTIVE-Xモデル： $\gamma$ 線
- 重量：7kg ( $\gamma$ 線用)、7.6kg ( $\gamma$ 線/中性子用: Li6/ZnS)
- サイズ：約 40(L) x 16(W) x 21(H) cm

## Detective-200

## 主な用途

ゲートモニタ / 車載(空中)サーベイ / 廃棄物分析評価



- 大型HPGe半導体検出器搭載：85mm  $\phi$  x 30mm, 相対効率50% (代表値)
- 液体窒素不要の電気冷却式、装置単体で動作
- ビルトインコリメータでBG低減可能
- IP67(防浸・耐塵)設計
- 内蔵バッテリーで約3時間動作
- 収集データは SD,USBで PCへ転送可能
- EXモデル： $\gamma$ 線+中性子線, DXモデル： $\gamma$ 線
- 重量：約21kg
- サイズ：約43(L)x25(W)x39(H) cm

# 荷電粒子検出器

ORTECは、イオン注入や表面障壁の技術を利用してシリコン荷電粒子検出器（Silicon Charged-Particle Detector）を製造しています。

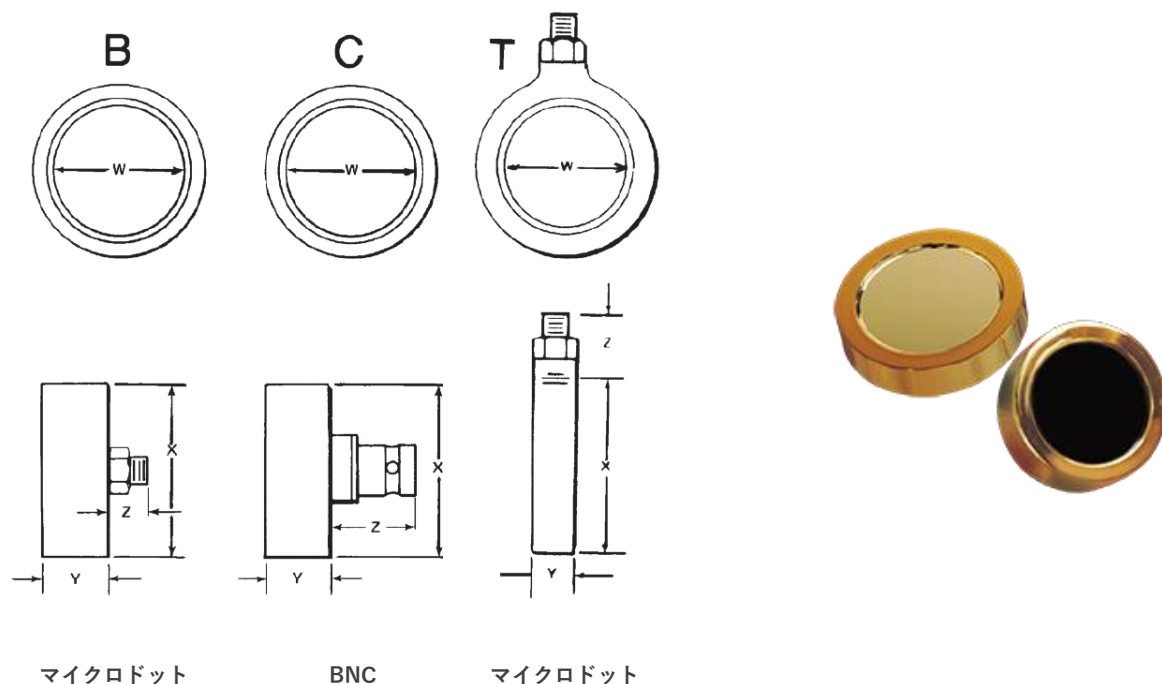
イオン注入型の場合は、フロントコンタクトがより薄くて頑丈なので、特定のアルファスペクトロスコピの用途でエネルギー分解能が向上します。

さらに、電子ノイズの低減、一部のアルファスペクトロスコピにおいて幾何学的効率の向上、60°C迄動作が可能なことや200°Cでのベーキングが可能等々の利点があります。

表面障壁型の利点は、厚み10 $\mu$ mの極めて薄い透過型検出器あるいは数mmの厚さの検出器を製造可能なことです（※SSB検出器と呼ばれています。）

シリーズ	構造	有感面積 (mm <sup>2</sup> )	空乏層厚 ( $\mu$ m)	動作温度範囲	主なアプリケーション
ULTRA	イオン注入型	25~3000	100~500	-30°C ~ +50°C	$\alpha$ 線スペクトル測定 $\beta$ 線スペクトル測定
ULTRA AS	イオン注入型	300~1200	100	-30°C ~ +50°C	$\alpha$ 線スペクトル測定（低BG）
A	表面障壁型	25~450	1000~2000	-30°C ~ +25°C	高分解能の荷電粒子測定
B	表面障壁型	50~450	150~2000	-30°C ~ +25°C	荷電粒子の弁別
C	表面障壁型	50~450	100~1000	-30°C ~ +25°C	角相関測定
D	表面障壁型	10~450	15~100	+10°C ~ +25°C	重粒子の飛行時間測定
F	表面障壁型	100~900	$\geq 60$	-30°C ~ +25°C	重粒子線スペクトル測定
R	表面障壁型	50~2000	100~500	-30°C ~ +25°C	明環境での荷電粒子の測定

## マウントタイプ



# アルファ線スペクトロメータ

## Alpha Aria

Alpha Aria はNIM 2 スパン・シングルチャネルアルファスペクトロメータです。チャンネルにはデジタルMCAが内蔵されており、デジタル・スペクトルスタビライザ機能を有しています。ユニットにはバイアスサプライ、プリアンプ、テストパルスが装備されています。ソフトウェアとして、MAESTROが標準添付されており、容易にネットワークを実現します。真空の操作はフロントパネルにある”PUMP/HOLD/VENT”で行います。Alpha Ariaの標準PC I/Fは USB2.0ですが、オプションでイーサネットを選択可能です。制御は日本語ソフトウェア（Alpha Port 2）から行うことができます。

### オプション（各モデル共通）

リコイル・プロテクション・システム



Alpha Duo



Alpha Mega



Alpha Aria

## Alpha Duo / Mega

Alpha Duo は卓上型2チャンネルアルファスペクトロメータです。各チャンネルにはデジタルMCAが内蔵されており、デジタル・スペクトルスタビライザ機能を有しています。各ユニットには真空ゲージ、高圧サプライ、プリアンプ、テストパルス、漏洩電流モニターが装備されています。Alpha Mega は卓上型1チャンネルアルファスペクトロメータです。最大で直径106mmの試料を測定することができます。

## Alpha Ensemble

Alpha Ensemble は卓上/ラックマウント型最大8チャンネル対応アルファスペクトロメータです。各チャンネルにはデジタルMCAが内蔵されており、デジタル・スペクトルスタビライザ機能を有しています。



Alpha Ensemble

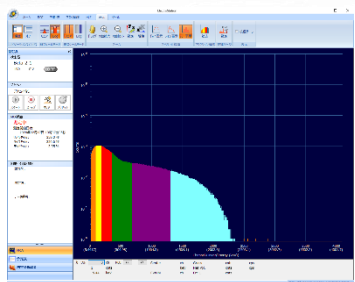
# ベータ線スペクトロメータ

## ElectroMaster 300

ElectroMaster 300はベータ線のスペクトル観察が可能な分析システムです。

ホスウィッチ検出器を採用しており、高い機器効率と低バックグラウンドによる優れた検出限界を実現しています。添付のソフトウェアElectro Station 2を用いることにより、Sr-Yの放射平衡待ちが不要なスペクトロメータならではの定量が可能です。

ZnS+プラスチックシンチレータを検出器に採用した計数ガス不要のアルファ・ベータ線カウンタであるEM400もご用意しています。



Electro Station 2

### 特徴

- ✓ 検出器にホスウィッチ検出器を採用することで、バックグラウンドを大きく低減
- ✓ 検出器仕様の最適化により、従来装置の2倍の機器効率を実現
- ✓ 主検出器とガード検出器にはプラスチックシンチレーション検出器を採用
- ✓ ガス式の不安定性や検出器のメンテナンスコストから解放
- ✓ スペクトルの観測により、容易に核種同定が可能
- ✓ サンプルチェンジャを含めた総重量を最小限に狭いラボにも設置可能

### 仕様

主検出器	厚さの異なるプラスチックシンチレーション 2枚 2枚を貼り合わせたホスウィッチ検出器 φ55mm窓
エネルギー分解能	20%以下( <sup>137</sup> Cs <sup>137m</sup> Baの内部転換電子線)
ガード検出器	プラスチックシンチレーション検出器
サンプルチェンジャ	最大50サンプル

# ソフトウェア

## ガンマ線核種分析ソフトウェア

### Gamma Station 2

高純度ゲルマニウム半導体スペクトロメータによって得られた $\gamma$ 線スペクトルを放射能測定法シリーズ記載の手法で分析し、 $\gamma$ 線放出核種の放射能を算出するソフトウェアです。

従来のソフトウェアとの互換性を保ちつつ、1リットルマリネリの自己吸収補正や検出限界プリセットなどの新機能を搭載し、より高度に業務をサポートいたします。

核種分析結果はデータベースに登録され、高速に検索・表示できるだけでなく、メールソフトのような操作性で整理することができます。

#### 新機能の追加

Gamma Station 2は従来のGamma Stationの設計を引き継ぎ、放射能測定法シリーズNo.7（令和2年度4訂版）に対応した新しいソフトウェアです。

測定の不確かさを算出・帳票に出力する機能の追加や、液体窒素デュワや液体窒素凝縮装置(MOBIUS)の運用データを記録・蓄積する機能等が追加されています。

#### オプション

##### サンプルチェンジャオプション

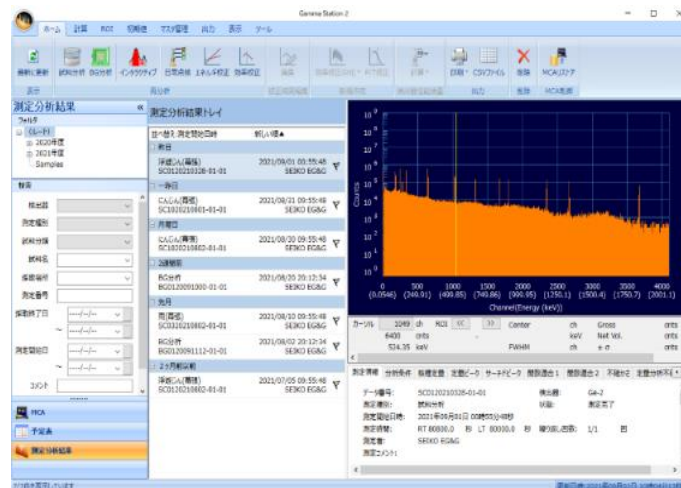
サンプルチェンジャを使用したスケジュール自動測定分析が可能

##### 試料情報入力オプション

試料をバーコード管理し、誤った測定を防止  
試料高さ、測定試料量を自動計算することで、ヒューマンエラーを防止

##### 水準調査報告オプション

Ge検出器を用いた分析結果を自動出力し、ヒューマンエラーを防止



Gamma Station 2

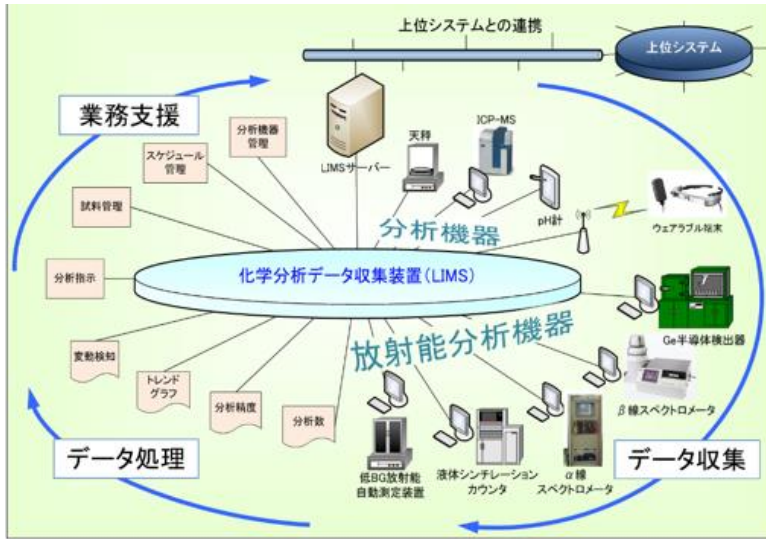
## アルファ線核種分析ソフトウェア

### Alpha Port 2

シリコン半導体検出器を使用した $\alpha$ 線スペクトロメータによって得られた $\alpha$ 線スペクトルを放射能測定法シリーズ記載の手法で分析し、 $\alpha$ 線放出核種の放射能を算出するソフトウェアです。

従来のソフトウェアとの互換性を保ちつつ、MCAのマルチ制御機能を統合し、より高度に業務をサポートいたします。

# LIMS（品質管理システム）・特注システム



LIMSとは・・・

Laboratory Information Management Systemの略称で、実験室内（施設内）の分析業務を統合管理するシステムです。

お客様の業務に合わせたシステムの構築をお手伝いしています。

当社営業までお問い合わせください。

## 導入のメリット

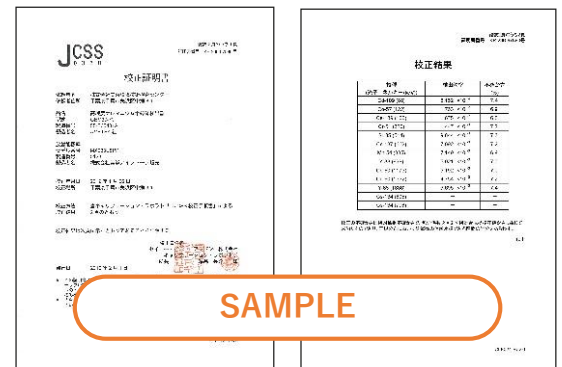
- ・ 業務フローの効率化
- ・ 分析結果の信頼性向上
- ・ 業務の効率化

## JCSS校正

- ✓ ISO17025審査に関する悩みを解決！
- ✓ ISO17025審査に係るコストを削減！
- ✓ JCSS標章付校正証明書を発行

### JCSS校正と一般校正の違いについて

JCSS校正はISO/IEC17025に基づき、第三者に認定を受けた校正です。JCSS校正ではJCSSのシンボルのついた校正証明書を発行できます。



ISO審査で指摘を受けたくない…

JCSS登録事業者が行う質の高い校正であるため、**ISO審査に関する悩みから解放されます！**

不確かさの証明に時間がかかる…

不確かさの記された校正証明書を発行するから、**煩雑な校正の不確かさ評価から解放されます！**

ISO審査に係るコストを削減したい…

当社所有の線源を使用するから、**線源の購入・廃棄に関するコストを削減線源管理業務からも解放されます！**

お客様は、より日常業務に専念できるため**ISO審査に費やす時間が減ります！**

# 放射能測定装置（ゲルマニウム半導体検出器） 定期点検サービス



測定結果の信頼性確保のため、年1回の装置の定期点検を推奨しています。  
お客様へのサポート体制の一環といたしまして、当社は定期点検の基本プランをご用意しております。

## 点検内容

点検前性能検査	点検開始前に、Geシステムの性能を確認いたします。（Co-60分解能）
各機器清掃・消耗品の交換	各機器を分解して内部の状態を確認し、清掃を行います。経年劣化を生じる消耗品は推奨交換時期になりましたら交換いたします。※1
各機器の点検	各機器の電圧などのチェックポイントを確認することで、機器の健全性を確認いたします。※2
性能検査	Geシステムの性能検査を行います。（Co-60分解能、相対効率）
エネルギー校正確認	基準値と比較してピーク中心の差異が判定基準の範囲であることを確認いたします。
効率校正比較確認	体積線源（マリネリもしくはU-8 50mm）※3を使用して定量分析を行い、定量結果と線源の校正放射能との差異が判定基準の範囲であることを確認いたします。オプションで新たに効率校正を行うことも可能です。
バックグラウンド測定	50000秒のバックグラウンド測定を行い、汚染の有無の確認を行います。（I-131、Cs-134、Cs-137）

※1 消耗品の交換などがある場合、別途費用（部品代）が発生いたします。

※2 校正・トレーサビリティが確保された測定器（テスト、オシロスコープなど）を使用して点検を行います。

報告書には使用機器のトレーサビリティ体系図を添付いたします。

※3 お客様が体積線源を所有の場合は、その線源をお借りして点検を行います。ただし、線源の使用期限を製造から2年とさせて頂いております。

これはエネルギー校正確認、効率校正比較確認の点検項目の精度が線源の製造からの年数に依存するためです。

お持ちの線源が製造から2年を超えている場合、または線源をお持ちでないお客様には有償となりますが点検時の線源貸出も可能です。

# MOBIUS Recycler 定期点検サービス

ゲルマニウム半導体検出器の冷却装置MOBIUS（液体窒素冷却装置）において、より安定した稼働維持のため、専用のメンテナンスサービスを提供いたします。

### 安定した稼働維持のために

稼働時間の経過とともに徐々に進む部品の摩耗や劣化に対して、適切な時期に交換を行い、安定した稼働を維持します。



### 専門技術者による充実した整備

専用の診断機・ツールを使用し、十分な訓練を受けた技術者による、メンテナンスサービスをご提供いたします。

MOBIUS Recyclerはシステムの継続的な安定稼働のため、定期的なメンテナンスを推奨いたしております。

本サービスでは専用の診断機・ツールを使用し、十分な訓練を受けた技術者によるメンテナンスサービスをご提供しております。

また、稼働時間の経過とともに徐々に進む部品の摩耗や劣化に対して、適切な時期に交換を実施いたします。

使用年数・ご利用状況によって異なりますので、詳細は担当営業までお問い合わせください。

また、検出器の予防真空引きなど様々なオプションをご用意しております。

# ICS-P4メンテナンスサービス



## 予防保全のメリット

突然の故障で予定を崩したくない・・・

⇒突発的な故障を予防し、お引き取り修理に  
費やされる稼働時間が削減できます

突然の故障による予想外の出費を抑えたい・・・

⇒故障リスクを下げ、修理費用を節約できます

突然の故障対応にかかる手間を減らしたい・・・

⇒長期的な安定稼働を実現します

ICS-P4はシステムの継続的な安定稼働のため、定期的なメンテナンスを推奨いたしております。

本サービスでは専用の診断機・ツールを使用し十分な訓練を受けた技術者によるメンテナンスサービスをご提供しております。

また、稼働時間の経過とともに徐々に進む部品摩耗や劣化に対して、適切な時期に交換を実施いたします。

使用年数・ご利用状況によって異なりますので、詳細は担当営業までお問い合わせください。

また、検出器の予防真空引きなど様々なオプションをご用意しております。

## 弊社設計製造ハードウェア製品 および標準ソフトウェア製品（放射線関連）のサポートポリシーについて

### ハードウェアサポートポリシー

弊社設計製造ハードウェア製品サポート期間

MCA-7 / MCA7600 / MCA7700

製造終了から最長で10年間

### ソフトウェアサポートポリシー

弊社標準ソフトウェア保証期間

納入検収後1年間 / 保証期間終了後は一定期間のサポートを実施

弊社標準ソフトウェアサポート期間

販売終了を基準として、  
販売終了日から2年間 もしくは 納入から5年 のいずれか長い方を適用

詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご参照いただきますようお願い申し上げます。

<https://www.sii.co.jp/jp/segg/support/>

2024年5月 Rev. 1.3



セイコーイージーアンドジー株式会社

本社・東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビルディング 6F 〒104-0032

電話番号：03-5542-3101(代表) ファクシミリ：03-5542-3109

<https://www.sii.co.jp/segg/>

営業課	中央区八丁堀 2-26-9 グランデビルディング 6F	〒104-0032	電話番号：03-5542-3104	ファクシミリ：03-5542-3109
システム営業課	中央区八丁堀 2-26-9 グランデビルディング 6F	〒104-0032	電話番号：03-5542-3104	ファクシミリ：03-5542-3109
大阪営業所	大阪市北区豊崎 3-2-1 淀川 5 番館ビル 5F	〒531-0072	電話番号：06-7711-0855	ファクシミリ：06-7711-0856
水戸営業所	水戸市大町 1-2-40 朝日生命ビル 5F	〒310-0062	電話番号：029-227-4474	ファクシミリ：029-227-7734
カスタムサービス	松戸市高塚新田 563	〒270-2222	電話番号：047-709-5743	ファクシミリ：047-709-5745



弊社ホームページ